

大正大学 TAIS PITCH コンテスト\_企画書

起業/プロジェクト名

「地図とGISの力で広げる地域と人材創造事業」

ふりがな	だだんだん ぷらす		人数	代表者名 (所属学部学科、学年)	
チーム名	だだんだん+		5人	氏名：後藤田 雄星 (地域創生学部 地域創生学科 24年卒)	
エントリー部門	<input checked="" type="radio"/>	(1) 起業部門 ※最初から事業化をめざす			(2) プロジェクト部門 ※まずは単発の企画からスタート
エントリー分野		① デジタル・IT分野			④ 教育・福祉分野
		③ エンターテイメント・文化分野		<input type="radio"/>	⑤ その他分野
		③ 新商品開発分野			

# メンバー紹介

こちらの資料は情報の保護の為  
掲載を控えさせていただいています。

# 企画書に必要な6つの項目

必要項目	内容
① <u>起業/プロジェクト概要</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 目的 (どんな社会や地域の課題解決につながるのか)</li> <li>✓ 目標 (定性目標+定量目標があれば尚良い)</li> <li>✓ 具体的な内容</li> </ul>
③ <u>市場と競合分析</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ターゲット市場と競合の状況について (環境分析などもあれば尚よい)</li> </ul>
③ <u>ビジネスモデル</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 提供する商品やサービスの内容 (社会へのインパクトはどうか。既存のモデルとの差異点も明確にする。)</li> <li>✓ 収益モデル (収益源は何か?)</li> </ul>
④ <u>マーケティング戦略</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ メインターゲット (顧客) は誰か</li> <li>✓ 販売戦略やプロモーション計画</li> </ul>
⑤ <u>運営計画</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 必要な人材・技術や設備</li> <li>✓ 財務計画 (初期投資額、資金調達計画、収益予測など) ※プロジェクトの場合は費用対効果をシュミレーションできればよい。</li> <li>✓ 全体のスケジュール</li> </ul>
⑥ <u>その他</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 主なリスクと対策</li> <li>✓ 必要な許認可や法的手続き</li> <li>✓ 起業の長期的な持続可能性やプロジェクトの今後の発展性</li> <li>✓ 提案の実現に必要な専門知識やスキル、関連する分野/領域での経験値など</li> <li>✓ 実現のためのリソース確保状況 (支援団体、支援者など)</li> </ul>

-地図への情熱が、

地域の可能性を広げる-

エグゼクティブサマリー	<a href="#">P7</a>
① 起業/プロジェクト概要	<a href="#">P8</a>
② 活動実績	<a href="#">P20</a>
③ 市場と競合分析	<a href="#">P26</a>
④ ビジネスモデル	<a href="#">P29</a>
⑤ マーケティング戦略	<a href="#">P43</a>
⑥ 運営計画	<a href="#">P51</a>
⑦ その他	<a href="#">P58</a>

### 事業名：地図とGISの力で広げる地域と人材創造事業

#### 市場・ニーズ分析

IT系に関しては、大手企業や老舗企業が多く存在  
→技術面では到底太刀打ち出来ない。

地図・GISの魅力発信、普及啓発の分野では、  
参入の余地がある。  
→特に**個人事業主や地域活動団体などに対して**  
**アプローチが重要**である。

既存の地理関連イベントは一般人が参加しづらい。  
→幅広い層が楽しめるコンテンツやイベントを  
提供する必要がある。

#### プロモーション戦略

- ・SNS (Facebook) やウェブサイトを活用した情報発信・収集
- ・既存の人脈を活かした、効果的なプロモーションの展開
- ・地域振興イベントやワークショップでの宣伝

#### 事業概要 (ビジネスモデル)

##### 地図作成/分析事業

実用的な地図データ及びGIS (地理情報システム) データの提供を行う。

##### コミュニティ創造/人材育成事業

地図・GISを活用したコミュニティ創造や人材育成を行う。

#### 目的・理念

- ①地域の情報を可視化し、**地域課題の解決**や**観光促進、住民サービスの向上**に貢献。
- ②地図やGISをエンターテインメントのツールとして活用し、**地域への関心**を高め、**コミュニティ形成**を支援する。
- ③地図及びGISの知識やスキルを普及させ、各々の興味関心分野と地図及びGISを紐づけて、**地域の問題解決に向けたプレイヤー**を育てる。

#### 運営計画

初期費用・・・300,000円

運営資金・・・35,780円/月×6ヵ月

初期投資額：514,680円～

##### 地図/分析作成価格

基本料金: 5,000円～  
情報量、媒体などによって価格が変動  
継続利用 (提供したデータの更新) での割引  
分析の場合、上記+5,000円～

##### コミュニティ創造/人材育成価格

イベント、ワークショップ  
参加者徴収の場合、～1,000円  
講演の場合、交通費+5,000円～

#### 目標

##### 地図作成/分析事業

- ・1年間で30件以上の地図やGISデータの提供を行う。

##### コミュニティ創造/人材育成事業

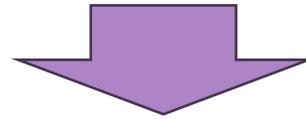
- ・1年間に3回イベントを開催する。  
土日2日間、20人/日の来場を目指す。  
→最終的に地図の美術館を設立  
年間5,000～10,000人以上の来館者を目指す。

# ① 起業/プロジェクト概要

## ① 起業/プロジェクト概要

### ✓目的

- ・ **地域の問題解決における地図および地理情報システム（GIS）の有用性を広く発信**
  - （1）地域の情報を可視化し、地域課題の解決や観光促進、住民サービスの向上に貢献する。
  - （2）地図やGISをエンターテインメントのツールとして活用し、地域への関心を高め、コミュニティ形成を支援する。
  - （3）地図及びGISの知識やスキルを普及させ、各々の興味関心分野と地図及びGISを紐づけて、地域の問題解決に向けたプレイヤーを育てる。

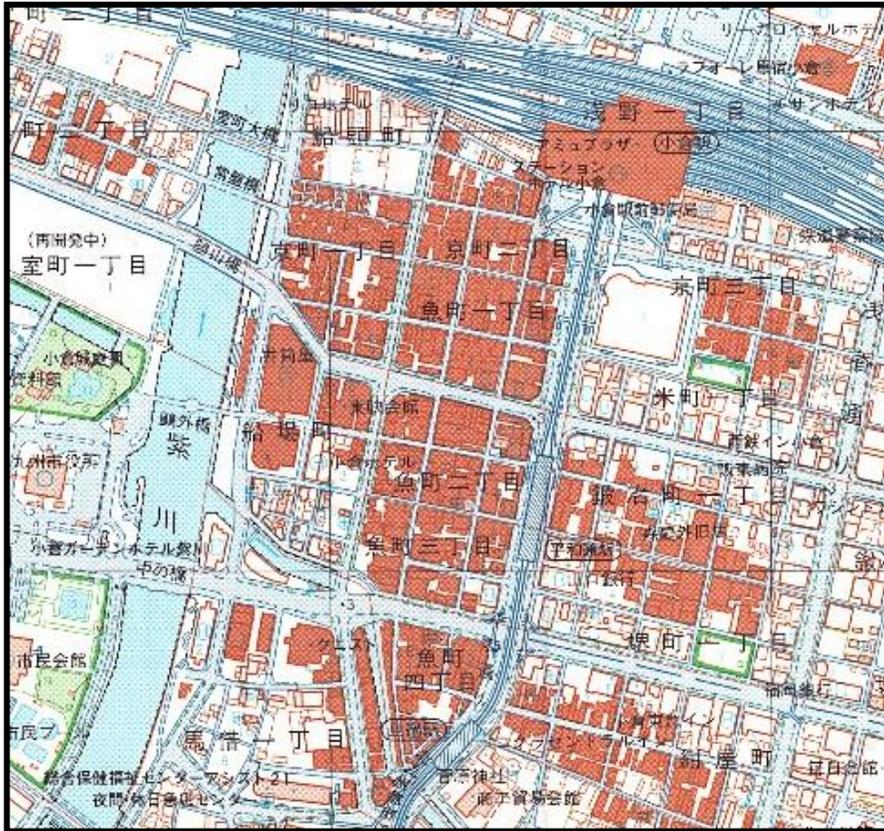


地図作成、地図情報を活用した人材育成、

コミュニティの創造を通じて、**地域の課題解決に貢献**すること。

# ① 起業/プロジェクト概要

## ✓地図の有用性について



1万分 | 地形図「小倉」, 2000(平成12)年測量

地図 = 地域を **図化** したもの

- ・ 地域が **どこ** にあるのか
- ・ 地域に **なに** があるのか (あったのか)

→ 地域の **特徴** はなにか



地形図や道路地図、路線図など **目的** や **用途** に応じて  
様々な種類の地図が作られている。

→ 人間の **生活** にとって **欠かせない** 重要なツール。

# ① 起業/プロジェクト概要

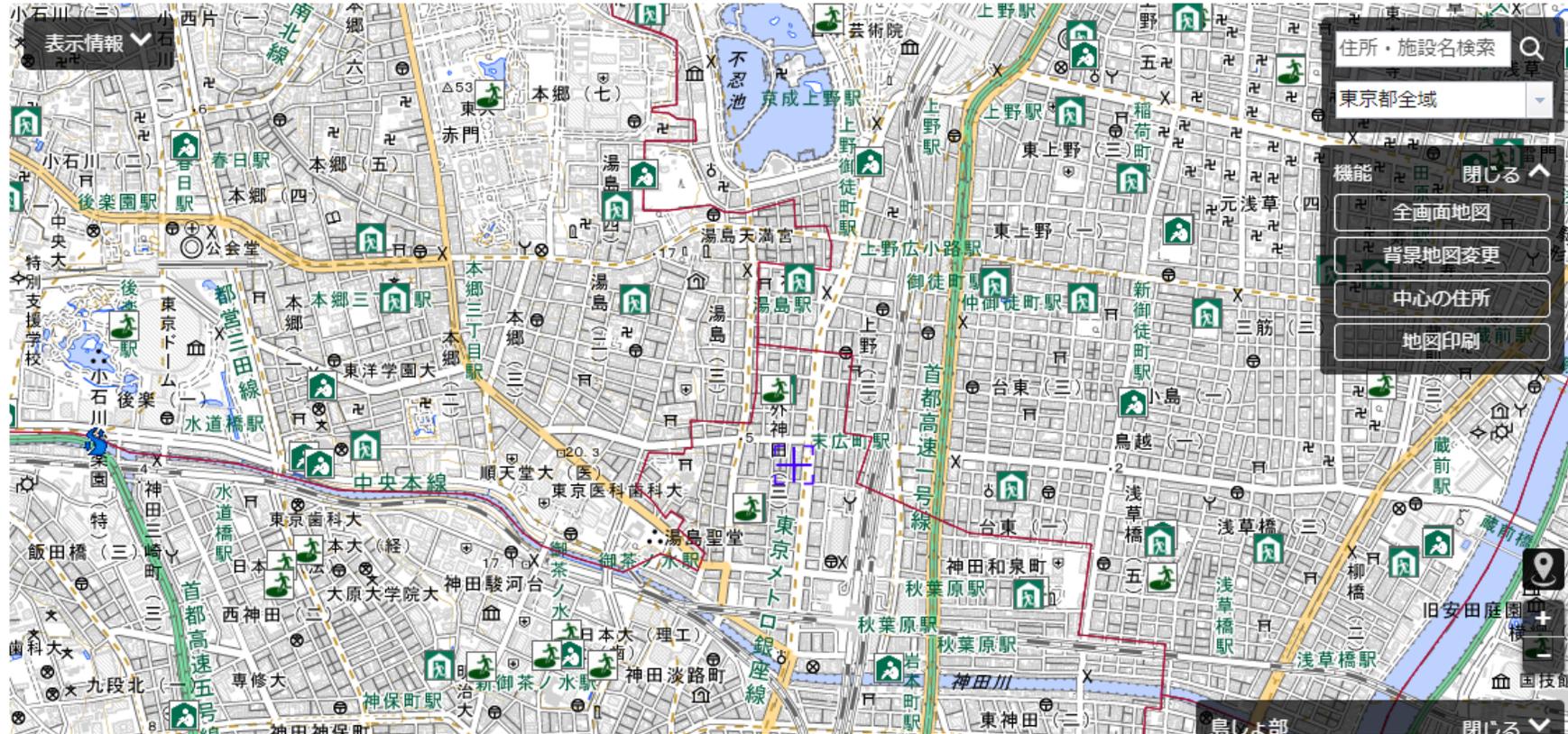
## 東京都の避難所一覧（一部抜粋）

東京都千代田区神田駿河台 1-8-14  
東京都千代田区神田駿河台 3-11-2  
東京都千代田区神田三崎町 1-3-2  
東京都千代田区神田三崎町 2-1-3  
東京都千代田区西神田 2-7-10  
東京都中央区京橋 2-6-7  
東京都中央区銀座 1-25-3  
東京都中央区銀座 5-1-13  
東京都中央区銀座 8-19-15  
東京都中央区湊 1-4-1



住所（文字情報）のみだと避難所の位置を瞬時に理解することが出来ない。  
→馴染みのない地域の住所であれば尚更位置の把握に時間がかかる。

# ① 起業/プロジェクト概要



地図上で表示することで、**視覚的に地域の情報を読み解くことができる。**

# ① 起業/プロジェクト概要

普段、我々は多くの場面で地図を利用している。



カーナビ (Panasonic HPより)



Google Map

日常的な利用に限られる

→ もっと地図の魅力を発信したい、有効活用してほしい！

# ① 起業/プロジェクト概要

## 本事業は**地図**×○○の提案と実現を目指す

地図×防災

地図×教育

地図×インフラ

地図×マーケティング

⋮

→**地図**は様々なコンテンツとの相性がよい

# ① 起業/プロジェクト概要

-DXが推進する現代、アナログでもデジタルでも輝けるのが **“地図”**



進化し続ける地図は**無限の可能性**を秘めている-

# ① 起業/プロジェクト概要

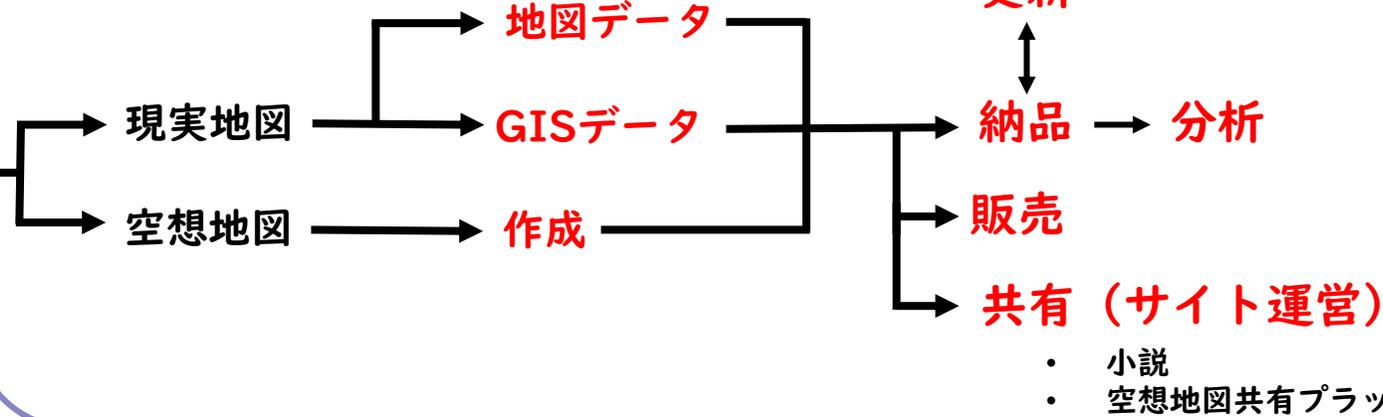
## ✓内容

メインコンテンツ

### 地図

#### 地図作成/分析事業

- ・ 観光マップ
- ・ 挿絵地図 など



#### コミュニティ創造/人材育成事業

地図の美術館

GIS講座・ワークショップ

イベント企画・運営

## 展開するビジネスモデル

赤字=収益を得られるサービス・活動

## ① 起業/プロジェクト概要

### ✓ 目標

(目的1) 地域の情報を可視化し、地域課題の解決や観光促進、住民サービスの向上に貢献する。

地域の魅力や特色を発信するための地図やGISデータを作成し、  
行政や住民、観光客などが**活用できる形で提供**。

1年間で**30件以上**の地図やGISデータの提供

## ① 起業/プロジェクト概要

### ✓ 目標

(目的2) 地図やGISをエンターテインメントのツールとして活用し、地域への関心を高め、コミュニティ形成を支援

個展や地図の美術館を運営し、地図の歴史や芸術的側面、地域ごとの特色を展示・紹介し、訪問者に地図や**地域の魅力**を伝え、**新たな発見や交流の場**を提供提供。

個展やイベント等を1年間に**3回開催**、土日2日間開催、**1日20人**の来場を目指す  
最終的には地図の美術館を設立し、設立後は**年間5,000~10,000人以上**の来館者

## ① 起業/プロジェクト概要

### ✓ 目標

(目的3) 地図及びGISの知識やスキルを普及させ、各々の興味関心分野と地図及びGISを紐づけて、地域の問題解決に向けたプレイヤーを育てる

地図作成やGISの利活用について、**ワークショップ**や**教育プログラム**を開催

1年間に**5回以上**のワークショップや教育プログラムを開催し、  
年間参加者数**50人以上**

## ② 活動実績

## ② 活動実績

### ✓ 提案の実現に必要な専門知識やスキル、関連する分野/領域での経験値など

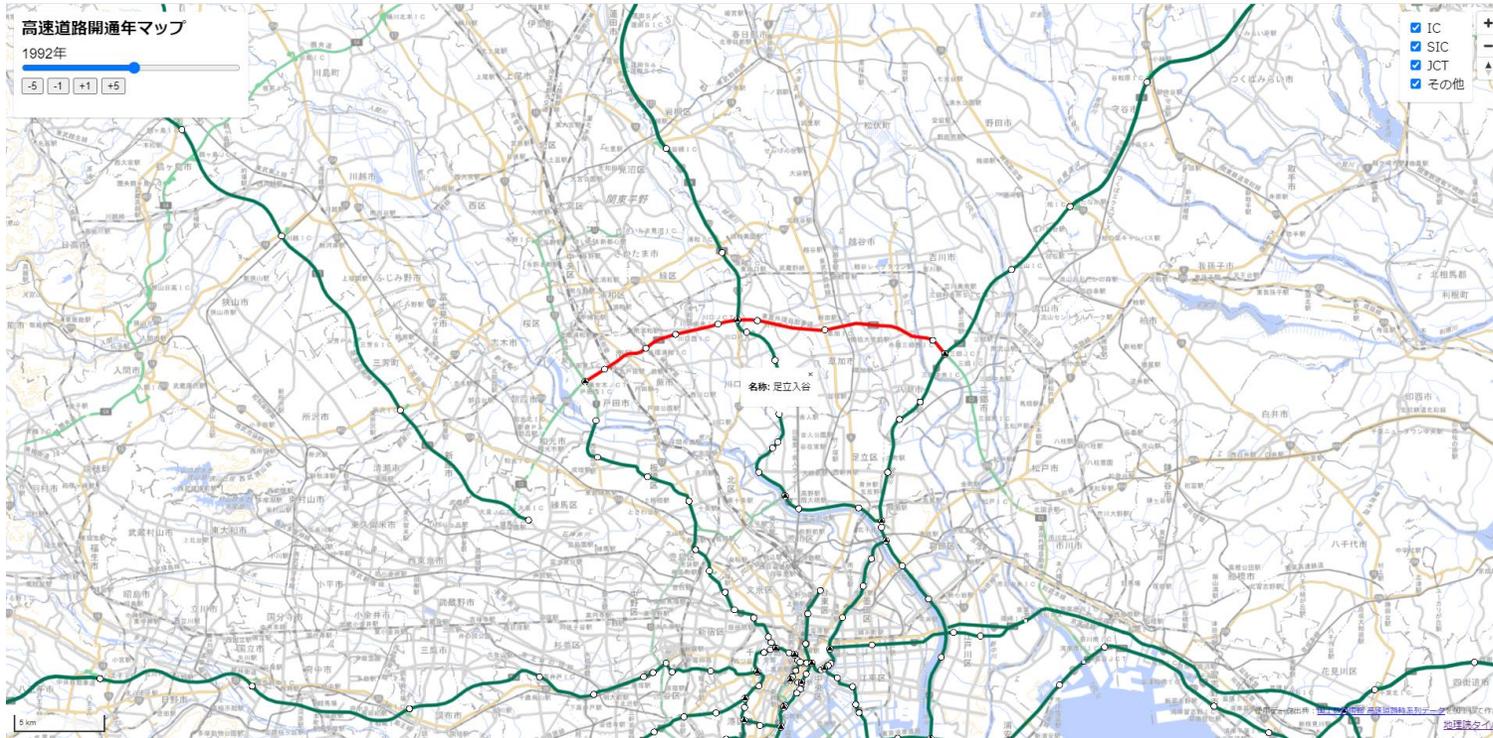
本事業を行うにあたり、現在までに以下の専門知識やスキル、実績を有している。

	内容
知識・スキル	<p>2021年11月 地図地理検定（一般）取得</p> <p>地域課題の発見と解決におけるGISと地図の重要性 - 地理空間情報の活用と人材育成の促進 - をテーマに、卒業論文において<b>地図のニーズ調査や利用頻度など、重要性について調査、執筆</b></p> <p>その他、QGIS、Excel、データ整形など</p>
実績	<p>QGISのワークショップを学内向けで実施（③ビジネスモデル p.30参照）：人材育成事業</p> <p>Chat-GPTの活用し、<b>地図・データの公開</b>：地図作成/分析事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樺太時系列データ</li> <li>・高速道路時系列マップ（次ページ参照）</li> <li>・鉄道時系列マップ</li> </ul> <p>ドローンによる農薬散布の運用管理用地図の作成、提供（次ページ参照）：地図作成事業（現実地図）</p> <p>ショートドラマ内の地図を制作：地図作成事業（空想地図）</p> <p><b>（現在進行中）</b> 埼玉県内の地域活動団体が整備する「どんぐり山」の案内地図設置（次ページ参照）</p> <p><b>（現在進行中）</b> 新潟県南魚沼市内でQGISのワークショップの開催を企画中</p>

## ② 活動実績



# 高速道路時系列マップ



オープンデータと地理空間情報の活用例

Chat-GPTを活用し作成。  
画面上のスライダーを動かすことで、  
開通状況を動的に可視化。  
(鉄道時系列マップも同様)

交通網の発展と地方毎の整備状況の格差を  
**視覚的**且つ**素早く把握**することが可能。

## 高速道路の開通年を時系列に表示

→ひなたGIS製作者のkenzkenz氏に反応を頂き、表示スタイルなどopen-hinataへの模倣に繋がった

## ② 活動実績

### ドローン運用管理用地図

ドローンによる農薬散布の管理を支援する地図を作成・提供

以前は、**地図作成に丸1日**かかっていた。

→1時間程度で作成、提供し**大幅な時短**に繋がった。

実績：10,000円/1地区

地図の実際の利用状況（個人情報保護のため一部モザイク処理）



## ② 活動実績

# アカコン受賞作品集『銀杏』 空想地図作品掲載

2022年第24回大正大学アカデミックコンテストにて、  
空想地図をテーマとした作品を応募。  
受賞は逃すも、作品集に掲載された。

巻頭の言葉

ヴィジュアル部門

《絵画・イラスト》

優秀賞 安全なおつかい

奨励賞 明るい未来を描こう

掲載 美花

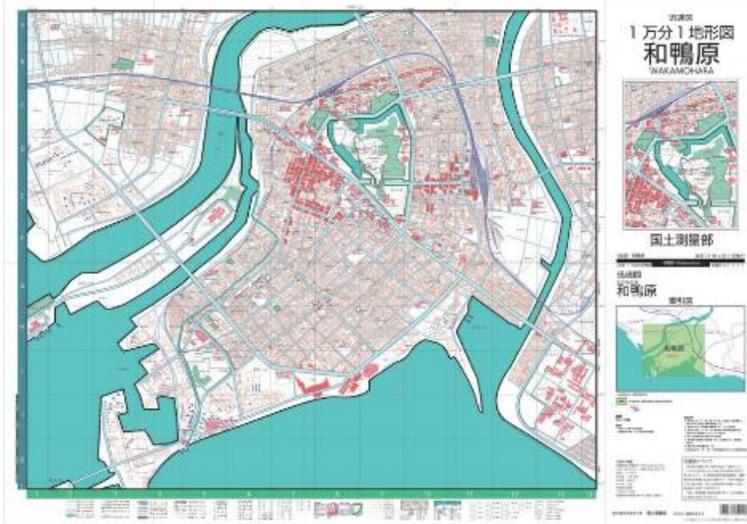
掲載 空想地図「和鴨原」1万分の1地形図

掲載 感情のコントロール

後藤田 雄星

12 11 10 9 8

1



空想地図「和鴨原」1万分の1地形図

ごとうだ ゆうせい  
後藤田 雄星 地域創生学科二年

## ③ 市場と競合分析

## ③ 市場と競合分析

### ✓ 地図作成/分析事業 (地図を扱う企業)

#### ➤ 現状

- IT系（ソフトウェア、測量など）に関しては、専門性高く業界最大手級や老舗企業が数多く存在  
→技術面では到底太刀打ち出来ない
- 地図・GISの魅力発信、普及啓発の分野は、2022年度の高校地理必修化等や防災教育の強化、**観光マップや地域ガイドの需要増加など新たな可能性**
- **空想地図に関しては、競合が少ないため独自の市場を形成するチャンス**

#### ➤ 現状からの考察

地図、GISの魅力発信、普及啓発の分野では参入の余地あり

現実地図と空想地図の両方を地図作成/分析事業として展開し、

**地域の情報をただ発信するだけでなく、幅広い分野のニーズに対応することが可能**

## ③ 市場と競合分析

### ✓ コミュニティ創造事業/人材育成事業

#### ➤ 現状

- 既存のイベントの特徴として、技術的な内容やニッチな話題が多く盛り上がる傾向があり、  
→一般の方が参加しづらい

#### ➤ 現状からの考察

- 幅広い層が使う・楽しめるコンテンツやイベントを提供する

例) 地図を使ったクイズ、地域の歴史や文化に触れる散策イベント、地図に親しみやすい体験型のプログラム

- 地図の美術館は、交流できるコミュニティスペースとしての役割

➡ = 地図好きを増やす

## ④ ビジネスモデル

## ④ ビジネスモデル（地図作成/分析事業）

### ① 現実地図

実際の地形や道路、建物をベースに作成する地図

依頼内容に応じて以下のような地図の作成が想定される。

- ・ **観光マップ**
- ・ **挿絵地図**
- ・ プロジェクトなどで使用する地図
- ・ 外国人向けの地図
- ・ **新規開業に向けた店舗立地を検討できる地図**
- ・ その他

こちらの資料は情報の保護の為  
掲載を控えさせていただきます。

## ④ ビジネスモデル（地図作成/分析事業）

### ✓ 既存の地図制作会社との差別化

<p>既存の地図作成会社</p>	<p>自治体や民間企業に対して地図データの提供 バイオーダー制</p>
<p>本事業</p>	<p>自治体や企業のみならず、地域の商店街やNPO団体、 地域活性化団体などの<u>小規模な団体</u>が持つニーズに対しても、 <b>地図データやGISデータの提供</b></p> <p>一度作成した地図の更新を安価で行い継続的な関係性を構築</p>

起業するにあたって自分自身も小規模であるために実現できる

柔軟な対応力を活かしたサービス展開

## ④ ビジネスモデル（地図作成/分析事業）

### ✓ 収益予測（販売方法及び価格等）

- 電子媒体（PDF等）or 紙媒体
- 価格は図の大きさ、縮尺、情報量、媒体、納品日などに応じて変動

項目	内容	追加費用（参考）
基本料金	<b>地図作成の基本料金</b>	<b>5,000円</b>
大きさ	A4	+0円
	A3	+1,000円
	A2～	+2,000円～
情報量	基本情報（地図として必要最低限の情報） 行政界/施設周辺の道路・鉄道など	+0円
	（要相談）	+1,000円～
媒体	デジタル版（PDF, JPEGなど）	+0円
	紙媒体（A4/1枚あたり）※部数/大きさによって変動	コスト関数で決定
納品日	標準納期（～2週間）	+0円
	速達納期（～1週間）	+2,000円

## ④ ビジネスモデル (地図作成/分析事業)

紙媒体での追加費用を決定するコスト関数

$$\text{単価 (Unit Cost)} = \frac{C_{\text{fixed}} + (C_{\text{per\_piece}} \times N) + (C_{\text{option}} \times N)}{N}$$

固定費用 (C<sub>fixed</sub>) = 5,000円一枚あたりの変動費用 (C<sub>per\_piece</sub>) = 50円

固定の数値

カラー印刷オプションの追加費用 (C<sub>option</sub>) = 30円印刷部数 (N) = 100枚

の場合、

依頼内容によって変動する数値

$$\text{単価 (Unit Cost)} = \frac{5,000 + (50 \times 100) + (30 \times 100)}{100} = 130\text{円}$$

紙媒体での追加費用は、総額 (Total Cost) = Unit Cost × N とする。

$$130 \times 100 = 13,000\text{円}$$

## ④ ビジネスモデル（地図作成/分析事業）

### ③ 空想地図

実際の都市に存在しない施設や空間を加筆  
又は、完全に架空の都市を地図として描画  
したもの

- ・ 空想地図は様々な作者が作成しており、  
実際に既存の商品として **500～1,500円程度で販売**

#### ✓ 販売方法

- ・ インターネット
- ・ 様々な地図や地理系書籍に特化したカフェである  
「**地理系ブックカフェ空想地図**」の販売コーナー
- ・ 空想地図関連のイベントで販売

# ④ ビジネスモデル (地図作成/分析事業)

## ✓ 空想地図の例 (企画代表者作成)



1万分 | 地形図 妃伊市



左図の空想地図の世界上の鉄道路線図



## ④ ビジネスモデル（地図作成/分析事業）

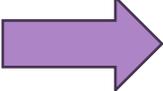
### ✓ 費用予測（地図作成事業における費用）

項目	費用	備考（使用ツール）
地図作成	年額 約10万円 （月額7,780円～）	Adobe Illustrator, Photoshop Creative Cloudコンプリートプラン
オンラインによる 販売依頼/打ち合わせ （右ツールのどちらかを利用）	年額 20,100円	zoom（プロプラン）
	年額 10,788円	Microsoft 365 Business Basic（Teams）
通信費 （サーバー費、クラウドなど）	年額 約60,000円 （月額5,000円～）	HPの運用、共同編集・作業用のクラウドサービスなど 必要なキャパシティに応じてプランなどを選定
印刷依頼費	—	（納品方法が紙媒体の場合必要になる費用） 印刷の素材や部数で一枚当たりの単価が異なっている ため、依頼内容により変動

## ④ ビジネスモデル（コミュニティ創造/人材育成事業）

### ✓ 概要

- 地図の美術館（仮称）を運営し、地図の種類や歴史のみならず芸術性を紹介し、  
新しい視点で「地図」に触れる機会を創出
- 美術館と称しているが、地域密着型のコミュニティスペースを兼ねて地図を展示
- 地域団体、企業とのコラボレーションも視野に入れ、より多様な参加者を巻き込んでいく

小規模イベントとして企画・開催 →   最終段階  常設的に運営

## ④ ビジネスモデル（コミュニティ創造/人材育成事業）

### ✓ 今後の展望（課題）

#### （１）最も資金が必要な部分でもある

地図作成事業や人材育成事業を中心に展開した上で、

**クラウドファンディング**なども活用して資金を集めることを検討

#### （２）具体的なレイアウトなどは検討段階

コミュニティスペースを運営するNPO団体、企業などへのヒアリングを通して具体化

## ④ ビジネスモデル（コミュニティ創造/人材育成事業）

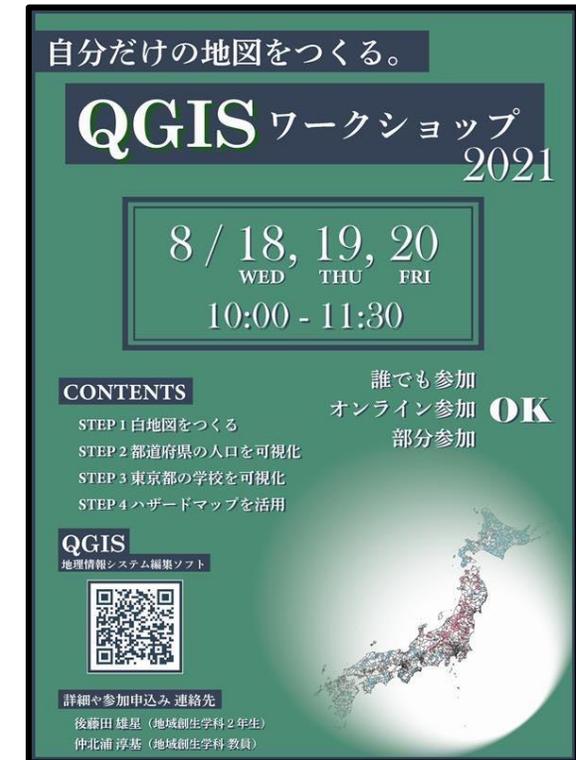


### ✓ 概要

- ・コミュニティ創造の延長線として、人材育成事業を行う。
- ・GIS講座や地図を利用したワークショップなどを通じて、**地図およびGISの知識と技術を普及**

### -人材育成・講演の例-

- ・GISフリーソフト「QGIS」の勉強会、ワークショップ
- ・空想地図の書き方講座
- ・古地図を用いた地域の変遷（地域教育）



告知ポスターの例

(2021年に大学内で実施したワークショップのポスター)

地図・GISを扱える人材を単に増やすだけではなく、地図・GISの活用を通じて、**各々の興味関心分野を結びつけ、知識の深掘りや課題解決に寄与**していくことを目指している。

## ④ ビジネスモデル（コミュニティ創造/人材育成事業）

### ✓ 収益予測

開催形式	参加料（委託料）	備考
参加者徴収型	～1,000円前後	
講演型	交通費+5,000円	1時間あたり

現状、**既存の人脈を活かしたプロモーションの展開で**

講演やワークショップの機会創出へ繋げていく

### ✓ 費用予測

- ・ 開催場所のレンタル料  
 ※参考：レンタルスペース（つくば） 1時間 1,800円～3,000円
- ・ 告知料 SNSは無料（チラシ配布の場合別途、印刷費）
- ・ 講義資料の印刷費

## ⑤ マーケティング戦略

## ⑤ マーケティング戦略（地図作成/分析事業）

### ✓ 想定されるターゲット層 【現実地図】

#### ターゲット

#### 応えられるニーズ



地域振興に従事、貢献している団体、個人

- ・ 地域企業や商店街などの地域情報の可視化と発信
- ・ 地域の観光資源や歴史的文化財の紹介マップ作成
- ・ 地域イベントや祭りなどのための特設マップ作成、集客支援
- ・ 空き家や新規開発地の情報をまとめたマップの作成
- ・ イベント・プロジェクトで利用する地図の作成
- ・ 新規開業に向けて店舗立地のエリアマーケティング など



個人事業主・中小企業・起業家・学生など



農業従事者

- ・ 所有する圃場の管理や作業効率化

## ⑤ マーケティング戦略（地図作成/分析事業）

### ✓ 【現実地図】の4P分析

#### ① 製品（プロダクト）

- ・オーダーメイド型の地図やGISデータの提供

- 
- ・作成した地図、GISデータによる分析

#### ③ 価格（プライス）

- ・基本料金: 5,000円～

※情報量、媒体などによって価格が変動

- ・**継続利用（提供したデータの更新）での割引**

---

上記+5,000円～

#### ③ 流通・場所（プレイス）

- ・オンラインでのデジタル納品（PDF等）
- ・紙媒体の発送（郵送対応）
- ・SNSやウェブサイトでの提供や、商店街、イベント会場などでの直接配布

#### ④ 広告（プロモーション）

- ・地域振興イベントやワークショップでの宣伝
- ・SNS（Facebook）やウェブサイトを活用した情報発信・収集
- ・既存の人脈を活かした、効果的なプロモーションの展開  
（既存の人脈＝南魚沼市、大正大学など）

## ⑤ マーケティング戦略 (地図作成/分析事業)

✓ 想定されるターゲット層 【空想地図】

ターゲット

応えられるニーズ



地図愛好家

作者独自の地図表現方法やアイデアの共有



鉄道愛好家

空想鉄道（現実には存在しない鉄道路線）の路線図作成  
（・作者独自の地図表現方法やアイデアの共有）



作家

小説や漫画などの空想世界を視覚化する地図の作成、  
アイデアの提供

## ⑤ マーケティング戦略（地図作成/分析事業）

### ✓ 【空想地図】の4P分析

#### ① 製品（プロダクト）

（後藤田作）オリジナルの空想地図

---

- ・ 物語やゲームなどの設定資料、世界観の補強ツールとしての地図作成

#### ③ 価格（プライス）

- ・ 1,000円前後
- 

- ・ 基本料金: 5,000円～  
(現実地図の料金設定に準拠)

#### ③ 流通・場所（プレイス）

- ・ インターネット販売
- ・ 地理系ブックカフェ空想地図
- ・ ドラマ、小説などの制作会社

#### ④ 広告（プロモーション）

- ・ SNS (X: 旧Twitter) による情報発信
- ・ 空想地図関連のイベントの参加を通じたターゲット層へのアプローチ

## ⑤ マーケティング戦略（コミュニティ創造/人材育成事業）



### ✓ 想定されるターゲット層

ターゲット	応えられるニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図が好きな人</li> </ul>	<p>(・ 作者独自の地図表現方法やアイデアの共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図好きの仲間を増やしたい</li> <li>・ 地図を通じて歴史的・文化的な背景を深く理解し、楽しみたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図が苦手な人</li> <li>・ ~30代の若者</li> <li>・ 美術館巡りやコミュニケーションが好きな人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図に対する不安要素の解消したい、地図の使い方を知りたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域振興に従事、貢献している団体、個人</li> <li>・ 個人事業主・中小企業・起業家・学生など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図やGISを利用して地域の課題を解決したい</li> <li>・ 自分の興味関心分野の深掘りに活かしたい</li> </ul>

## ⑤マーケティング戦略（コミュニティ創造/人材育成事業）



### ✓ 【コミュニティ創造事業】の4P分析

#### ① 製品（プロダクト）

- ・ 地図を展示したイベントの開催
- ・ 地図がテーマのコミュニティスペースの提供（地図の美術館）

#### ② 価格（プライス）

入館料：～1,000円

#### ③ 流通・場所（プレイス）

##### 候補地

- ・ つくば市
- ・ 大正大学周辺（巣鴨エリア）
- ・ 南魚沼市
- ・ 三条市・燕市

#### ④ 広告（プロモーション）

SNS（Facebook、X）やウェブサイトを活用した情報発信

## ⑤マーケティング戦略（コミュニティ創造/人材育成事業）



### ✓ 【人材育成事業】の4P分析

#### ① 製品（プロダクト）

- ・ 地図やGIS関連のワークショップの開催

#### ③ 価格（プライス）

- 参加者徴収の場合、～1,000円
- 講演の場合、交通費+5,000円～

#### ③ 流通・場所（プレイス）

##### 候補地

- ・ 大正大学
- ・ 南魚沼市
- （一般社団法人愛・南魚沼みらい塾）

#### ④ 広告（プロモーション）

- ・ 地域振興イベントやチラシでの宣伝
- ・ SNS（Facebook）やウェブサイトを活用した情報発信・収集
- ・ 既存の人脈を活かした、効果的なプロモーションの展開

## ⑥ 運営計画

## ⑥ 運営計画

### ✓ 必要な人材や技術（設備）

地図作成/分析事業における製本や印刷等の作業は外部委託を予定しており、パソコンとWi-fiを含むネットワーク環境さえあれば、概ね本企画代表である後藤田が一人で活動可能である。

現状、自宅をオフィスとして活用する予定であり、追加で必要となる人材（従業員）や賃貸料などは、今のところ考慮していない。

その他、業務で利用する最低限のツールなどは以下の通り。

使用ツール	費用	備考
Adobe illustrator	7,780 円/月	地図デザイン作成に利用
Adobe acrobat		契約書類の管理、作成に利用
QGIS	無料	地図基本図の作成やGISデータの作成、分析に使用 商用利用可のフリーソフト

## ⑥ 運営計画

### ✓ 財務計画

本事業では、地図作成/分析事業を中心に収益を確保し、  
コミュニティ創造/人材育成事業へ段階的に投入する形で事業を展開する。

地図作成/分析事業では、パソコンやインターネット環境などがあれば自宅でも作業ができるため、**初期投資額を大きく抑えることが可能である。**



## ⑥ 運営計画

### ✓ 初期投資額

初期費用・・・300,000円

- ・ 広告宣伝費（HP作成、名刺作成など）：50,000円
- ・ AO機器（HDD、プリンター、スキャナーなど）：100,000円
- ・ 研修費、新聞図書費（資格取得、スキル取得などに必要な経費）：50,000円
- ・ 予備資金（予想外の出費への備え）：100,000円

月次経費・・・35,780円/月

- ・ 賃貸/光熱費:自宅のため無計上
- ・ 人件費：従業員なしのため無計上
- ・ 地図作成・通信費（ソフトウェア・サーバーなどのサブスク費用）：12,780円/月
- ・ 事務用品（定期的な消耗品の購入）：3,000円/月
- ・ 旅費交通費（打ち合わせなど）：20,000円

運転資金：月次経費：35,780円×6カ月（半年間）＝214,680円

**初期経費＋運転資金＝514,680円～（初期投資額）**

## ⑥ 運営計画

### ✓ 資金調達計画

初期投資額を抑えられる事業形態であるため、自己資金と出資を中心に資金を調達する。事業を開始する際に利用可能な創業融資制度を活用して必要な資金を多めに確保し、黒字化までに余裕のある資金繰りを目指す。

<p style="text-align: center;">自己資金 500,000円</p>	<p style="text-align: center;">出資 100,000円</p>	<p style="text-align: center;">創業融資 要調査・相談</p>	<p style="text-align: center;">助成金※</p>
--	--	--	---

貯金＋アルバイトによる収入

家族・親戚など

※個人事業主を対象とした助成制度は地元自治体（つくば市）は無し→“会社”設立に係る補助金などに限られる。その他、補助金まとめサイトを参考に順次情報を収集していく。

## ⑥ 運営計画

### ✓ 全体的なスケジュール（開業前）

時期	内容（事業に関する活動内容）	到達目標
2024年 12月以前	<p>（大学卒業後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図・GISについて勉強</li> <li>・ 農業従事者への地図作成、提供</li> <li>・ Chat-GPTの活用し、地図の公開</li> </ul> <p>高速道路時系列マップ 市町村自治体変遷マップ など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創作活動（空想地図）の本格始動</li> </ul> <p>2024年6月～（<b>継続中</b>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ （一社愛・南魚沼みらい塾） Youkey College 参加→企業支援プログラム</li> <li>・ 地図関連イベントの参加+地図作成関係者ヒアリング →販路拡大に向けて人脈形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己啓発（地図及び会計に関する勉強）</li> <li>・ 協力者との関係構築</li> <li>・ 地図サンプルの作製</li> <li>・ 2025年4月個人事業主として開業</li> </ul>
～2025年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業準備</li> </ul> <p>つくば市創業サポート 創業に向けてセミナーの参加など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>MIERUNE QGISトレーニングキャンプ</u>の参加</li> </ul>	

## ⑥ 運営計画

### ✓ 全体的なスケジュール（開業後）

時期	内容（事業に関する活動内容）	到達目標
2025年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図作成関係者ヒアリング</li> <li>・地図の作製</li> <li>・地図関連イベントの企画・実施</li> </ul>	<p>基盤構築・成長期【事業拡大と安定化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力者との関係構築（<b>発信力強化</b>）</li> <li>・地図の作製 <b>月3件以上</b></li> <li>・オンライン販売（空想地図）</li> <li>・人材育成/コミュニティ創造のイベント実施（<b>年2回以上</b>）</li> </ul>
2026年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上（事業のさらなる本格化）</li> <li>・収益モデルの多角化</li> </ul>	<p>地図販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の作製 <b>月5件以上</b></li> <li>⇒ 月間売上金額目標：3カ月連続<b>30万円以上</b></li> <li>・人材育成/コミュニティ創造のイベント実施（<b>年4回以上</b>）</li> <li>・地図の美術館設立に向けた調査も本格的に</li> <li>・過去の売り上げや事例を参考に、地図制作以外の<b>事業展開の計画策定</b></li> </ul>
2027年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>（・新規事業展開準備）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図美術館の詳細計画策定</li> <li>⇒ 立地・資金調達・展示内容決定</li> </ul>
2028年度	<p>4月 地図の美術館のオープン</p>	

# ⑦ その他

⑦ その他

✓ 主なリスクと対策

リスクの内容	対策
<p>技術や知識の不足</p>	<p>起業するにあたり、より具体的な経営手法の検討や<b>専門性のある知識や有意義な情報の収集</b>が必要。                  各種セミナーや勉強会などに積極的に参加する                  (現在参加中)                  起業家教育プログラム                  一般社団法人愛・南魚沼みらい塾 Youkey college</p> <p>その他、地図・GISなどの勉強会や研修、イベントにも参加する</p>
<p>収益の不安定性</p>	<p>事業開始初期は顧客基盤が確立されておらず、収益が安定しない可能性がある</p> <p>ターゲット層に対する積極的な営業活動を行い、<b>早期に顧客基盤を構築</b>する                  広告やSNSを活用し、サービスの知名度を高める。                  定期的に市場調査を行い、<b>顧客のニーズやトレンドを把握</b>し、サービスの改善や新たな提案を行う                  小規模イベントやワークショップを提供することで収益の多様化や知名度の向上を図る</p>
<p>コンプライアンス違反</p>	<p>事業を行う上で、著作権侵害や情報漏洩などの社会的信用を大きく損なう<b>コンプライアンス違反を防止</b>する。                  著作権法や利用規約など関係法令の熟読                  コンプライアンス研修やセミナーなどの参加</p>

## ⑦ その他

### ✓ 必要な許認可や法的手続き

本事業の開業にあたり、主に以下の手続きが必要となる。

	手続き先	内容
1	税務署（土浦税務署）	開業届の提出 青色申告承認申請
2	地方公共団体（茨城県）	個人事業税開業届など

上記、1の開業届について、e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用して提出する。  
個人事業主のため開業届に係る費用はかからない。

その他、国民年金や国民健康保険、小規模企業共済への加入、事業用の銀行口座などの準備も行う。

⑦ その他

✓ 起業の長期的な持続可能性やプロジェクトの今後の発展性

大正大学 TAIS PITCH コンテスト\_企画書

① 起業/プロジェクト概要



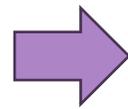
普段、我々は多くの場面で地図を利用している。



カーナビ (Panasonic HPより)



Google Map



様々な場面で活用されている地図は、常に一定の需要があると考ええる。

日常的な利用に限られる

→もっと地図の魅力を発信したい、有効活用してほしい！

## ⑦ その他

地図・GISが利用される場面はインフラ整備やマーケティングなどの**専門的な業種**から、2022年度の高校地理必修化や防災教育の強化、地域教育への活用など、多岐にわたるようになり、**より一般層への地図・GISの魅力**を普及していく**必要**がある。

本事業では、地図を単なる道具としてではなく、**地域の深堀や課題発見につながる魅力的なツール**として発信していきたいと考えている。  
地図にどのように興味を持ってもらえるか、ターゲットに対して地図をどのようにアプローチしていくかを慎重に検討し、地図利用のニーズをさらに高めていくことで、**地図活用の好循環を創造**していく。

## ⑦ その他

### 取得を目指している資格

#### マップリーダー（地図専門指導者）

マップリーダーとは、人々の地図に対する理解を深め、社会における地図の利活用を活発化し、世の中に地図の楽しさを広めるために活躍してもらうことを期待して一般財団法人日本地図センターが2007（平成19）年に制度を創設した。（日本地図センターHPより）

人材育成事業を展開していく上で、講演会や研修会を実施するにあたり、講演や研修をするにふさわしい人材なのか、依頼先（取引先）の**信頼を得る必要**がある。  
マップリーダーという資格を保持することで、一定以上の指導者としての指標の一つとして活用できると考える。

#### 地図地理検定（専門）

地図、GISの専門的な知識を広く証明する資格の一つとして。

#### 社会教育士

地図を用いて、地域の魅力発信やコミュニティ創造をする上で指標の一つとして活用できると考える

## ⑦ その他

### ✓ 実現のためのリソース確保状況（支援団体、支援者など）

- ・ 大正大学
- ・ 南魚沼市（一般社団法人愛・南魚沼みらい塾、地域おこし協力隊）

- ・ 一般社団法人燕三条空き家活用プロジェクト

→本格的に美術館の運営に進んでいく際に、今後は空き家活用全般に関する意見をいただく  
(利用する空き家の場所は燕・三条とは限定しない)。

小規模イベントを燕三条の空き家で行うことも視野に、空き家活用による美術館設立の初期投資の削減や  
**空き家の有効活用**にも繋げたい。

- ・ 地図がテーマで活動している方（Facebookなどで繋がりあり）

→地図のイベントなどを通して人脈形成中。



**MAKE  
YOUR  
UNIVERSE.**

一緒だからつくれる世界を。